

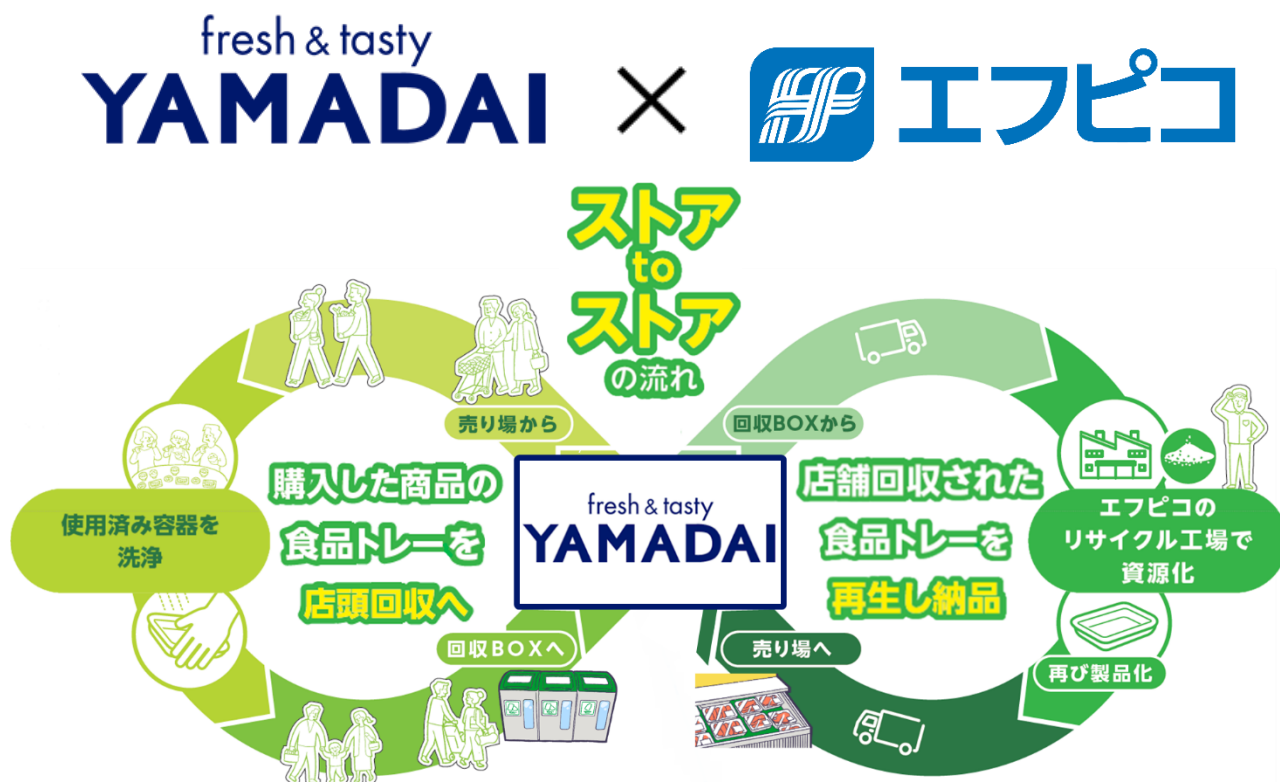
2025年12月24日
株式会社スーパーヤマダイ

愛知県名古屋市のスーパーヤマダイとエフピコが エコストア協働宣言！ 「ストアtoストア」の水平リサイクルとエコ製品の使用を推進

～2026年3月期までにCO2排出量削減 年間26tを目標～

株式会社スーパーヤマダイ(代表取締役社長:近藤 智也、以下「スーパーヤマダイ」と)と株式会社エフピコ(代表取締役会長:佐藤 守正、以下「エフピコ」)は「エコストア協働宣言」を行い、愛知県名古屋市の7店舗において、地域の皆さまと共に水平リサイクル※1の強化とCO2排出量削減に取り組んでまいります。

※1 リサイクルの前後で用途を変えずに資源を循環させるリサイクル方法



●本取り組みについて

スーパーヤマダイとエフピコは、「お店がその地域のエコリーダー」となることを目指し、スーパーヤマダイの店頭に設置している回収ボックスにて、地域の皆さまにお持ちいただいた使用済み食品トレー・透明容器を回収しております。回収した使用済み食品トレー・透明容器はすべてエフピコで資源として活用され、エコ製品※2へと生まれ変わります。このエコ製品を再びスーパーヤマダイの売り場で使用することで、お店を発着点とする「ストアtoストア」の水平リサイクルを実現しております。

スーパーヤマダイはこの度の協働強化に伴い、エコ製品をより積極的に使用し、2026年3月期において「年間26t」のCO2排出量削減を目指します。

※2 回収された資源を原料とする「エコトレー」、「エコAPET」、「エコOPET」

●地域の環境教育活動の強化について

スーパーヤマダイとエフピコは、店舗で実施する環境啓発イベント、地域小学校への環境出前授業を積極的に行ってまいります。地域の環境負荷低減、リサイクル資源の有効活用に加え、環境教育活動の推進により、持続可能な循環型社会の実現に貢献してまいります。

●「トレーtoトレー」とは

循環型の リサイクル



【ご参考】

＜株式会社 スーパーヤマダイ ＞

名古屋市内に7店舗を展開するスーパーマーケットです。「食が人を良くする」という基本理念に基づき、食を通じてお客様・従業員が幸せな生活を送ることができる会社になりたいと考えております。そして、地域のお客様の食生活の充実をはかることが、わが社の使命であると考えます。

所在地:〒458-0036 名古屋市緑区六田1-160

代表者:代表取締役社長 近藤 智也

設 立:1972年4月

H P:<https://www.super-yamadai.co.jp/>

＜株式会社エフピコ＞

スーパーマーケットやコンビニエンスストアなどで使用される簡易食品容器を製造販売する国内最大手メーカーです。エフピコ方式のリサイクル「トレーtoトレー」「ボトルto透明容器」による地上資源の循環及びCO2排出量削減、環境負荷の低い容器の開発による省資源化などを通じて、持続可能な社会の実現を目指しています。

所在地:〒163-6036 東京都新宿区西新宿6丁目8番1号新宿オークタワー36 階

代表者:代表取締役会長 佐藤 守正／代表取締役社長 安田 和之

設 立:1962年7月

H P:<https://www.fpc.co.jp/>

以 上

【本リリースに対するお問い合わせ先】

■株式会社エフピコ リサイクル推進部 TEL:03-5325-7559 FAX:03-5325-7767



対応するSDGs目標			スーパーヤマダイの取組み
目標1	貧困をなくそう あらゆる場所で、あらゆる形態の貧困に終止符を打つ		こども食堂へ弁当や飲料の提供
目標2	飢餓をゼロに 飢餓に終止符を打ち、食糧の安定確保と栄養状態の改善を達成するとともに、持続可能な農業を推進する		こども食堂へ弁当や飲料の提供
目標3	全ての人に健康と福祉を あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する		移動スーパーとくし丸
目標4	質の高い教育をみんなに すべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する		職場見学（小学生）、職場体験（中学校）の実施（年2回程度）
目標5	ジェンダー平等の実現 ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメントを図る		
目標6	安全な水とトイレを世界中に すべての人々に水と衛生へのアクセスと持続可能な管理を確保する		
目標7	エネルギーをみんなにそしてクリーンに すべての人々に手ごろで信頼でき、持続可能かつ近代的なエネルギーへのアクセスを確保する		省エネルギーに対応した最新の冷蔵設備へ更新（2021年2店舗）
目標8	働きがいも経済成長も すべての人々のための持続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用およびディーセント・ワークを推進する		・ 障害者雇用の促進（品出し業務での採用） ・ 高齢スタッフの継続雇用
目標9	産業と技術革新の基盤をつくろう レジリエントなインフラを整備し、包摂的で持続可能な産業化を推進するとともに、イノベーションの拡大を図る		とくし丸社との提携による移動スーパー事業への参入
目標10	人や国の不平等をなくそう 国内および国家間の不平等を是正する		
目標11	住み続けられるまちづくりを 都市と人間の居住地を包摂的、安全、レジリエントかつ持続可能にする		上記移動スーパーを活用した、警察との連携による防犯・交通安全の啓発
目標12	つくる責任つかう責任 持続可能な消費と生産のパターンを確保する		・ ペットボトル、ダンボール、使用済みトレー等の回収に関する、店頭でのリサイクルステーションの設置 ・ バックヤードでの調理作業の際に出た魚のアラ再利用、廃油リサイクル、野菜クズの再利用 ・ 食品廃棄ロスの削減、「てまえどり」運動の推進

対応するSDGs目標			スーパーヤマダイの取組み
目標13	気候変動に具体的な対策を 気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策を取る		
目標14	海の豊かさを守ろう 海洋と海洋資源を持続可能な開発に向けて保全し、持続可能な形で利用する		<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境に配慮した栽培方法の三河湾のりの販売（無酸処理） ・ マイバッグの推進→レジ袋削減により海洋環境の保全
目標15	陸の豊かさを守ろう 陸上生態系の保護、回復および持続可能な利用の推進、森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、土地劣化の阻止および逆転、ならびに生物多様性損失の阻止を図る		
目標16	平和と公正をすべての人に 持続可能な開発に向けて平和で包摂的な社会を推進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供するとともに、あらゆるレベルにおいて効果的で責任ある包摂的な制度を構築する		
目標17	パートナーシップで目標を達成しよう 持続可能な開発に向けて実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する		<ul style="list-style-type: none"> ・ とくし丸社との提携による移動スーパー事業への参入 ・ 上記移動スーパーを活用した、警察との連携による防犯・交通安全の啓発